

わいわい組保護者会

2025.4.1(火) 16:15~

本日の内容

- 新わいわい組のおともだち
- わいわい組の年間目標について
- 個の育ちと集団の育ち
- わらす組に進級したら・・・

お知らせとお願い・ご理解いただきたいこと

わいわい組のおともだち



せとぐち ちはるちゃん



ないとう すいちゃん



とくなが りんちゃん



かわて しおんくん



いしなべ りょうくん



たけうち いよりくん



やじま ゆたかくん



まっばやし りこちゃん



あずま せいごくん



たなか ほのちゃん



いがらし ゆいかちゃん

わいわい組 年間目標

- 1 わらす組での生活に慣れていきながら、心地よい**生活習慣や態度**を身に付けていく。（健康）
- 2 身の回りの環境(空間/物/人)と関わりながら、**自分で気付いたり考えたり**してやってみようとする。
(健康、環境)
- 3 さまざまな友だちと関わりながら、**それぞれの関係性**を結び、**お互いの良さや協力し合う喜び**を知っていく。
(人間関係)
- 4 さまざまなやりとりの中で**言葉への感覚**を豊かにし、**心地よい言葉**を選んで使ってみようとする。（言葉）
- 5 様々な環境やその中での経験を通して、**じぶんの好きなこと**を見つけ、じっくりと探究していく。
(環境)
- 6 身近な自然や生き物、素材、食、音楽、身体的な活動など、**さまざまな事物や活動との出会い**を通して、**イメージや感覚**を豊かにする。（環境、表現）

1 わらす組での生活に慣れていきながら、習慣や態度を身に付けていく。（健康）

●小さな集団から、ぐっと大きな集団へ…

保育園生活の中で最も環境の変化が大きな年ですね。

スモールステップではじめていく。⇒わいわい組単独での時間を多くとって過ごしていく予定。
（最初は園内や屋上での遊びなども増えるかと思います。）

●自分なりの体験を通して

体験とは、できるできないの結果ではなく、うれしい、たのしい、くやしい、かなしい、おこるなどの
心が動く瞬間

2 身の回りの環境(空間、物、人)と関わりながら、自分で気付いたり考えたりしてやってみようとする。(環境)

- 「自分でやってみよう」「自分で考えてみる」の体験を積み重ね、自らの手で心地よい生活を作っていく。
にこにこ組のときよりも、大人との距離が離れていく時期。少しずつ、友だちに頼ったり、自分でやってみようとトライしたりする姿が増えていくように・・・。



3 さまざまな友だちと関わりながら、**それぞれの関係性**を結び、**お互いの良さや協力し合う喜び**を知っていく。(人間関係)

●わらす組になると、らんすいの友だちも増え、新たな関係や関わりも生まれる。

⇒お互いに、“どんな子なのかな”と最初は相手のことがよくわからない・よく知らない ことも多い。信頼関係もまだこれから。

●**関係性ができる前のむずかしさ**

⇒相手のことをよく理解しているときと、まだよく知らない相手の時とでは、受け取り方も変わってくる。

「わからない」からこそ、その時その瞬間の相手の言葉や態度がダイレクトに刺さってしまうこともあるかも…。

3 さまざまな友だちと関わりながら、それぞれの関係性を結び、 お互いの良さや協力し合う喜びを知っていく。(人間関係)

●相手との関係や距離感を調整していく力

わらす組になると、子ども同士の世界の時間が多くなってくるので、そのぶん、大人の見えないところでのやりとりや友だち間での感情の揺れも増えてくることが予想されます。

⇒まだフォローが必要な部分

相手のこと・相手との「**違い**」を知っていきながら、**お互いの距離感**を見つけたり**関係性**を築いていったりする・・・子どもなりにその関係の調整をしていく体験も重ねていく。

⇒「**違い**」を知り、理解し、**生かし合って**過ごしていく力をつけていくことで、**互いに育ち合う社会・協力し合える社会**を作っていくことを目指していきたい

4 さまざまなやりとりの中で言葉への感覚を豊かにし、心地よい言葉を選んで使ってみようとする。（言葉）

- 色々な場面で、つい、強い言葉が出てしまったり、とがった言い方になってしまったり、投げやりな言い方になってしまったりすることもある…

⇒「言葉」というものに対する意識や感覚を持って過ごせるような関わりや環境。

言葉の持つ力って？心地よい言葉や伝え方って？

相手の存在を感じ取りながらのコミュニケーション。

⇒日々の小さな積み重ねの中で、「こんな言い方がうれしいな」「こんな言葉が心地よいな」経験を通して、その感覚を育んでいく。

5 様々な環境やその中での経験を通して、**じぶんの好きなこと**を見つけ、じっくりと**探究**していく。（環境）

●それぞれの子どもの「おもしろい!」「もっと知りたい!やってみたい!」を大切に。

またやりたい!もっとやりたい!と、のめり込める感覚や体験。

⇒じぶんの「**好き**」を見つける。

好きなことがあること=そこで輝けること・生き生きとできること。自分の「好き」で世界を広げていけること。

子どもたちの「**自信**」にもつながっていくのではないのでしょうか…? ex)わらす組の野球

6 身近な自然や生き物、素材、食、音楽、身体的な活動など、 さまざまな事物や活動との出会いを通して、イメージや感覚を 豊かにする。

● 色々なものごととの **出会い**

ただ触れるだけでなく、どのように出合っていくか。「探究」にもつながっていく。

ex) にこにこ組での食育

⇒その中でさまざまな体験を通して、**感覚を豊かにする、表現の幅を広げる。**

感じたこと、思い描いたこと、イメージしたことを自分なりに表現してみたり、そうして分かち合ってみたりする楽しさを味わっていく。 (…言葉だけにとどまらない)

個の育ちと集団の育ち

●個の育ちと集団の育ち

「集団の育ち」

⇒単純に『まとまりとして見る』ということではない。

個々の発達＋個の結びつき（個の関係のつながり）➡「集団の育ち」へ。

それぞれの子ども同士の関係性を築き、そのつながりをどれだけ深め、広げていけるか。

納豆のような集団!?『コーヒージョン』“この子はこれが得意だから聞いてみよう!” “こういうときはこの子に頼ろう”など…「探究」があるからこそ、その姿ともつながる関係

●目の前の結果ではなく、過程を大切に♪

こんな関わりも・・・

お兄さんお姉さんのやさしさに触れながら



気持ちを聞き取り寄り添いながら関わってくれるお兄さんに、少しずつ気持ちを開いていった いよりくん。

持ち物に関するお知らせ・お願い

●上履きについて

避難靴として保管します。普段の園生活での使用は任意ですが、わいわい組のうちは自己管理が難しいかと思しますので、基本的には履かずに過ごすでOKです。

●園用(散歩用)外靴について

汚れても良い靴のご用意をお願いします。(登園用と一緒にのもので良い方は、統一で大丈夫です。)

●水筒について

すいすいさんのリュックに入れて運んでもらうことも。中身は半分くらいでOKです。子どもたちが自分で持って散歩に行けるくらいの重さのものをお願いします。

●お家からのもの

家のおもちゃやシールなどは、管理が難しいので、「保育園には持ってこない」ということでお願いしています。ご家庭でもお子さんと一緒に確認をお願いします。

園生活におけるお知らせ・お願い

●登園は朝9:15までにお願いします。

●午睡について

まだ午睡が必要な子が多いので、基本的には午睡をします。家庭と相談の上、必要に応じて調整していきます。

●活動記録について

始めのうちは、進級後の心配もあるかと思うので、なるべく様子が分かるようにお伝えしたいと考えていますが、わらす組での生活が慣れてきたら、徐々に、内容も変わっていくかと思います。

●運動ゾーンの綱で擦れてしまうことがあるかもしれません

あとから赤みが出てきたり、お家でお風呂のときにすれたところに気付いたりすること。

ご理解いただきたいこと

- 学年やクラスで分けるのではなく、その子の発達に合わせ生活を作っていきます。

子ども自身が、「いま」自分が求めているもの、必要としているものを選んでいる姿。

+

保育者が、いまのその子に必要な環境を見極めて選んでいくこと。

一人一人の姿や生活に寄り添い、成長をサポートしたいと思います。お家の方と共に、子どもたちの育ちを見守っていきたいと思いますので、よろしくお願いします！

はじめてのわらす組、一緒に慣れていきましょう…！